

普及項目	担い手
漁業種類等	—
対象魚類	—
対象海域	有明海、八代海、天草西海

大学と連携した食育推進活動

天草広域本部水産課・郡司掛 博昭

【背景・目的・目標（指標）】

天草地区漁業士会は、平成 30 年度（2018 年度）に尚絨大学・尚絨大学短期大学部と地域連携食育推進活動実施に関する協定を締結し、以来、連携した食育活動を継続している。

本協定は、両者が相互に連携及び協力し、熊本県産の水産物に対する社会の理解を深め、日本型食生活の伝承及び望ましい食生活の形成を目指すとともに、優れた食の専門家の育成、栄養士の技術向上等を図るための一助とし、併せて、熊本県産水産物の消費拡大をととして、地域社会に貢献することを目的としている。

今年度は、大学生及び保育園児を対象とした食育活動や現地見学を実施し、熊本県産水産物の理解促進と魚食普及を図った。

【普及の内容・特徴】

（1）大学キャンパスにおける「尚絨食育の日」への食材提供

実施日：令和 7 年（2025 年）6 月 19 日、11 月 6 日

実施場所：尚絨大学・尚絨大学短期大学部

概要：同大学の学食において開催された「尚絨食育の日」に合わせ、天草地区漁業士会から養殖マダイとヒトエグサを提供した。提供食材は「鯛めし」「鯛ラーメン」、「鯛めしおにぎり」及び「アオサ汁」として提供され、併せて食堂内に養殖業や天草の水産業に関する資料を展示することで、県産水産物や養殖業への理解促進を図った。

（2）養殖場及び加工場見学

実施日：令和 7 年（2025 年）10 月 18 日

実施場所：株式会社恵天養殖場、熊本県海水養殖漁業協同組合栖本加工場

参加者：尚絨大学・尚絨大学短期大学部学生 10 名、教員 3 名、
天草地区漁業士 2 名、天草広域本部水産課 1 名

概要：学生を対象に、養殖場及び加工施設の見学を実施した。養殖場では給餌体験や漁業士が養殖業に関する説明を行った。また、加工施設では、高度衛生管理や生産から加工まで一連の工程を見学してもらい、水産業への理解醸成を図った。

（3）保育園における魚食普及に係る食育イベントの実施

実施日：令和 7 年（2025 年）11 月 21 日

実施場所：カトレア保育園（熊本市）

参加者：園児 19 名、尚絨大学・尚絨大学短期大学部学生 6 名、教員 1 名、
天草地区漁業士 2 名、天草広域本部水産課 2 名

概要：保育園児を対象に、漁業士が、マダイの三枚おろしの実演、紙芝居の読み聞かせを行った。また、「くまもとの四季のさかな」を活用した魚釣り

ゲーム及び鯛めしの試食を実施した。大学生と漁業士が連携して運営することで、園児が楽しみながら熊本の魚や漁業に親しむ機会を創出した。

【成果・活用】

「尚綱食育の日」では、提供したメニューが両日ともに売り切れとなり、実施後のアンケートでも大変好評との意見が大半であった。また、養殖場及び加工場見学では、養殖される水産物の安全性や加工現場での徹底された衛生管理を学生たちに伝えることができた。

保育園での食育イベントは、熊本市内の保育園では初めて実施したが、園児や先生に大変好評であった。加えて、地元テレビ局の取材を受け、インターネット上で動画が公開されたことから、尚綱大学と天草地区漁業士会の連携協定に基づく活動のPRにも繋がった。

今後も、大学、漁業士会及び関係機関が連携し、幅広い世代を対象とした食育活動等を継続することで、熊本県水産物の認知度向上及び魚食普及の推進を図っていくこととしている。

【達成度自己評価】

5 十分に達成され、目標（指標）を上回る成果が得られた（101%以上）



図1 学食で提供された鯛ラーメン



図2 水産に関するパネル等の展示



図3 養殖場見学



図4 マダイの三枚おろしの実演